

視覚障害者の方へ

聞こえにくくなった  
と感じたら



# 「聞こえにくさ」とは？

「会話をしているときに聞き返すことが多くなった」、「以前より音量を大きくしないとラジオの音が聞こえない」など、聞こえにくさを感じることはありませんか？  
まずは、ご自身の聞こえの状態を確かめてみてください。

- 会話をしていて聞き返すことが増えた。
- 聞き間違いが多い。
- 「話し声が大きい」と言われる。
- 後ろから呼ばれても気付かないことがある。
- 車の接近に気付かないことがある。
- 集会や会議など複数の人との会話でうまく聞き取れない。
- 電子レンジの音やドアのチャイムの音が聞こえにくい。
- 家族に「テレビやラジオの音量が大きい」と言われることがよくある。



## 聞こえにくさの種類

### ■ 伝音性難聴

中耳炎や耳硬化症などが原因で、音を伝える機能に障害が起こるものです。

### ■ 感音性難聴

聴神経から脳にかけての音を聞き分ける機能に障害があるもの。「加齢」「遺伝」「大きな音を聞き続ける」「ストレスが重なる」など原因は様々です。

### ■ 混合性難聴

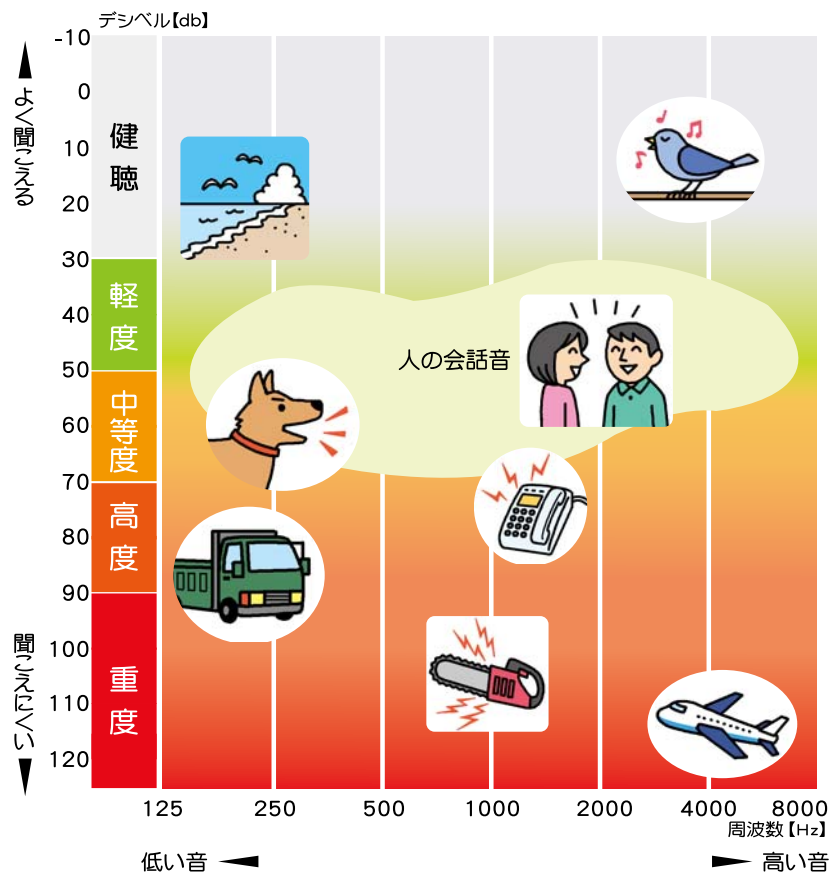
伝音性難聴・感音性難聴の両方を原因とする難聴です。

※あてはまる項目の数が3個以上の場合には、聞こえにくさが進行している可能性もあります。  
(日本補聴器工業会のニュースレターより抜粋)

## 2

## 「聞こえにくさ」の程度と対策

聞こえにくさの程度には個人差があります。個々の状態に応じて対策をすることでコミュニケーションをはじめ、日々の生活をより良くすることができます。



### ■ 軽度難聴：30～50dB

小さな声や、離れた場所からの声が聞こえにくい周囲からは聞こえているように見えてしまいます。会話をする際の位置関係を聞こえやすいように変えてみるほか、補聴器の利用も検討してみましょう。

### ■ 中等度難聴：50～70dB

話者が複数の場合や、広い場所での会話が聞き取りにくい

専門家と相談しながら、自分の聞こえにあった補聴器を選び、調整をすることが重要になります。

### ■ 高度難聴：70～90dB

耳もとで話しかけられてもほとんど聞き取れない中等度難聴と同様、補聴器の選択と調整が大事です。また、移動介助やコミュニケーションのサポートをする「通訳・介助者」の活用も検討してみましょう。

### ■ 重度難聴：90dB～

補聴器を装用してもほとんど聞き取れない独力で情報を得ることが難しくなります。移動介助やコミュニケーションのサポートをする「通訳・介助者」の活用が不可欠です。

## 「聞こえにくさ」を感じたら

聞こえにくさを感じたら、耳鼻科を受診したり、役所や福祉事務所などへ相談に行くことをお勧めします。

裏表紙に記載している3つの専門機関では、下記の①②③どの段階でも相談を受け付けています。

### 1 耳鼻科の受診

聴力レベルを計測します。高度・重度の難聴と診断されたら、聴覚障害の身体障害者手帳の交付を受けるために、指定医に診断書・意見書を書いてもらいます。



### 2 市区町村に相談

地域の役所や福祉事務所に行き、身体障害者手帳を申請し、福祉サービスの説明を受けます。



### 3 福祉サービスを利用

手帳の交付を受けることで利用できる福祉サービスを、役所や福祉事務所、支援機関に申し込みます。

※自治体から補聴器や日常生活用具などの支給または助成を受けることができます。



### 聴覚障害の等級

音の聞こえのレベルを表すデシベル (dB) や、言葉としての理解の度合いを示す語音明瞭度などによって、聴覚障害の等級は2級から6級まで規定されています。等級によって利用できるサービスは異なります。

## 4

## 補装具 利用できるサービス①

補装具は、失われた機能を補う用具です。聴覚障害の補装具には補聴器とイヤーマールドがあります。補聴器にはさまざまな機能・形状があり、購入する際は、必要な機能を医師や言語聴覚士、認定補聴器店の補聴器技能者などに相談すると良いでしょう。

## 耳あな型補聴器



## 【メリット】

耳に入れるので目立たない。音の出ている方向がわかりやすい。

## 【デメリット】

自分の声が響くことがある。耳に装着したまま操作ができず、手元での操作も難しい。

## 耳かけ型補聴器



## 【メリット】

機種が多く、さまざまな聞こえに対応できる。

## 【デメリット】

耳あな型に比べるとやや目立つ。

## ポケット型補聴器



## 【メリット】

スイッチ等が大きめで手元での操作が簡単。

## 【デメリット】

コードが引っかかりやすく、服のすれる音などが入りやすい。

## イヤーマールドについて



耳かけ型やポケット型の補聴器を装用する際に必要になるイヤーマールド。耳の穴に入れて使用します。補聴器本体と比べて耐用年数が短い消耗品です。快適な聞こえの状態を保つためにも、定期的な交換やメンテナンスを行う必要があります。

# 5

## 日常生活用具

### 利用できるサービス②

日常生活を快適に送るために必要な機器・用具である「日常生活用具」は、市区町村を通じて、助成を受けることができます。

#### ■屋内信号装置

来客時のチャイム音、電話やファックスの着信音、乳幼児の泣き声、時計のアラームなどを、振動で知らせます。



#### ■火災警報器

屋内信号装置の一部として、振動や光、において火災の発生を知らせます。



#### ■自動消火装置

火災が発生したときに、自動的に薬剤などで消火します。

# 6

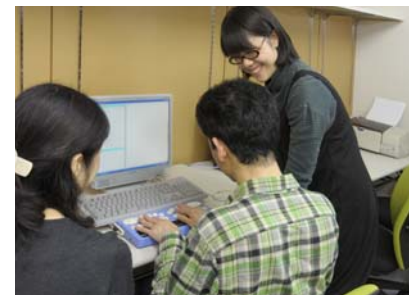
## 生活訓練

### 利用できるサービス③

聞こえにくさによる生活の困難さを解消するために様々な訓練を受けることができます。

#### ■パソコン訓練

画面を読み上げる機能や、点字ディスプレイを利用したパソコンの使い方などを習得します。



#### ■コミュニケーション訓練

点字の読み書きや指点字、手話、手書き文字などのコミュニケーション方法を学びます。





## 通訳・介助者派遣事業

### 利用できるサービス④

目と耳の両方に障害のある方に、外出とコミュニケーションをサポートする制度が「通訳・介助者派遣事業」です。例えば、通院の際に、自宅と病院の間を安全に移動できるよう支援するとともに、医師や薬剤師の説明を聞こえやすいように耳元で復唱します。通院の他にも、役所での手続き、普段の買い物、講習会やサークルへの参加など、様々な場面で利用できます。

※視覚障害者向け移動支援サービスである「同行援護」も併用可能です。

#### 聴覚を活用したサポート方法

##### ■音声通訳

補聴器を使っても、人が多い場所では声の聞き分けが難しく、その場に誰がいるのかも把握が困難になります。

そのような状況で有効な

のが「音声通訳」です。通訳・介助者が耳元や補聴器のマイクに向かって、発言している人の名前やその内容、その場の雰囲気などを伝えます。個々の聞こえ方に応じて、声の大きさや抑揚、早さなども適宜調整します。



#### さらに聞こえにくさが進んだら

##### ■点字筆記 (プリスタ、パソコンなど)

点字の触読ができる場合は、「プリスタ」と呼ばれる速記用点字タイプライターで打たれた点字を読み取ります。パソコンに入力した文字を点字ディスプレイに出力し、点字を読み取る方法もあります。

##### ■指点字

両手の人差し指から薬指の計6本に、点字タイプライターを打つようにタッチして言葉を伝えます。点字筆記に比べ、特別な道具がいらないことが利点です。





お近くの相談窓口までご連絡ください。

視覚・聴覚の両方に障害のある方や、  
そのご家族、関係者の方からの様々な  
ご相談を受け付けています。  
また、同じような障害がある方が集まる  
交流会の開催や、生活訓練、通訳・介助者  
派遣事業などを実施しています。

### 東京都盲ろう者支援センター（認定NPO法人 東京盲ろう者友の会）

■ 〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-32-6 コスモス浅草橋酒井ビル2階  
■ TEL:03-3864-7003 ■ FAX:03-3864-7004  
■ E-mail:tokyo-db@tokyo-db.or.jp  
<http://www.tokyo-db.or.jp/>

聴覚障害のある方やそのご家族、  
関係者の方々からの様々なご相談を  
受け付けています。

### 社会福祉法人 聴力障害者情報文化センター

■ 〒153-0053 東京都目黒区五本木1-8-3  
■ TEL:03-6833-5004 ■ FAX:03-6833-5005  
■ E-mail:soudan@jyoubun-center.or.jp  
<http://www.jyoubun-center.or.jp/>

各種相談や、視覚障害者向け  
福祉機器や便利グッズの販売を  
行っています。

### 日本盲人福祉センター（社会福祉法人 日本盲人会連合）

■ 〒169-8664 東京都新宿区西早稲田 2-18-2  
■ TEL:03-3200-0011 ■ FAX:03-3200-7755  
■ E-mail:jouhou@jfb.jp  
<http://www.normanet.ne.jp/~nichimo/>

発行・作成：特定非営利活動法人 東京盲ろう者友の会  
協 力：社会福祉法人 日本盲人会連合  
社会福祉法人 聴力障害者情報文化センター  
特定非営利活動法人 Tokyo Lighthouse  
東京大学先端科学技術研究センター 福島研究室  
発行年月日：2013年10月